



TITLE:

天象

AUTHOR(S):

CITATION:

天象. 天界 1935, 15(174): 480-481

ISSUE DATE:

1935-09-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167103>

RIGHT:

一九三五年

(昭和十年)



(花山天文臺)

月

I——太陽と月 (天空の明暗)

日付	日出 (星座)	日没	日付	夜半の月 齢	月出 (星座)	月没
日 時 分		時 分	日 時 分		時 分	時 分
1	5:51 (を と め)	5:41	1	3.3	8:59 (てんびん)	19:14
6	5:55 "	5:35	2	4.3	9:59 "	19:56
11	5:59 "	5:28	3	5.3	10:57 (さそり)	20:45
16	6:3 "	5:21	4	6.3	11:53 (へびつかひ)	21:43
21	6:8 "	5:15	5	7.3	12:45 (い て)	22:48
26	6:12 "	5:9	6	8.3	13:32 "	—:—
31	6:17 "	5:4	7	9.3	14:24 (やぎ)	23:49
			8	10.3	14:51 (みづかめ)	0:59
			9	11.3	15:26 "	2:9
			10	12.3	15:59 "	3:18
			11	13.3	16:33 (う を)	4:32
			12	14.3	17:10 "	5:45
			13	15.3	17:49 "	6:59
			14	16.3	18:33 (ひつじ)	8:12
			15	17.3	19:23 (をうし)	9:22
			16	18.3	20:20 "	10:26
			17	19.3	21:19 "	11:24
			18	20.3	22:20 (ふたご)	12:12
			19	21.3	23:20 "	12:53
			20	22.3	—:— (か に)	13:28
			21	23.3	0:18 "	13:59
			22	24.3	1:14 (しゝ)	14:26
			23	25.3	2:9 (六分ぎ)	14:52
			24	26.3	3:4 (しゝ)	15:17
			25	27.3	4:0 (を と め)	15:43
			26	28.3	4:56 "	16:11
			27	29.3	5:53 "	16:41
			28	0.6	6:51 "	17:16
			29	1.6	7:51 (てんびん)	17:56
			30	2.6	8:52 (さそり)	18:43
			31	3.6	9:53 (へびつかひ)	19:36

II——天象

日 時 分	
2, 4:59	木(北5°1')と月と合
3, 16:6	火(北1°32')と月と合
6, 15:—	水星が停留
9, 19:54	土(南6°6')と月と合
13, 18:32	天(南5°36')と月と合
15, 21:—	金星が最大光輝
18, 14:—	水星が内含
22, 17:—	水星が昇交點
23, 23:22	金(北2°58')と月と合
24, 1:36	海(北5°50')と月と合
25, 10:—	金(南2°35')と月と合
26, 17:11	水(北6°39')と月と合
27, 1:—	水星が停留
27, 8:—	水星が近日點
28, 6:—	天王星が對衝
29, 20:49	木(北4°28')と月と合

上 弦 10月 5日 22時39分
下 弦 10月 19日 14時36分

満 月 10月 12日 13時39分
新 月 10月 27日 19時15分

主な流星群

日 付	赤經	赤緯
8日—	77°	+31°
15日頃	31°	+9°
16日—25日	92°	+15°
20日—24日	98°	+14°
28日頃	44°	+5°
31日	43°	+22°

附近の星

座	β
牛 座	南 部
羊 座	オ リ オン
双 子 座	子 座
鯨 座	座
羊 座	41 星

性 質

緩
緩
痕
速
痕
—
緩輝



“Moon”

(京都 林生)

- 月. 此のフシダラな牝犬め。
- 月. ふとした機会から月が彗星であることを知つた。
- 月. さうさう此の松原に借りて来よう。
- 月. 晝が落して行つた艶書。
- 月. ねえ、皆さん月は半球ですよ。
- 月. 其夜あまり喉が乾いたので既にトマトと間違ふところだつた。
- 月. 情事の手鏡、彼女はやつと泣き止んだ。
- 月. 私は五十銭玉の月を拾つた、今でもあのそばの味を忘れぬ。
- 月. それでもやつと歸つて来た彼女、眞赤に眼を泣きはらせて。
- 月. 或夜酔歩とは云ひながら到々私は月に躓いた。
- 月. その街燈の下でそつとヴェガが唇をなほす。
- 月. 彼女はオソバンらしい。
- 月. 都會の夜がその丸窓からは入つて来る。
- 月. ゆふべの徹夜にもうすつかり疲れて。